

中学校の現状や課題について話し合っていきます

もみじ台地区の中学校の現状

少子化の影響により、中学校の生徒数が年々減少している状況です。

(各年5月1日現在 ※令和3年は推計値)

中学校	昭和63年	令和元年	令和2年	令和3年	増減率 (S63⇒R3)
もみじ台	1,062人	230人	240人	226人	-79%
もみじ台南	913人	127人	103人	91人	-91%
合計	1,975人	357人	343人	317人	-84%

皆様からのご意見

中学校の生徒数減少により生じている課題について、
小学校、中学校のPTA役員の皆様からご意見をいただきました。

<ご意見例>

「子どもたちから部活動のニーズはあるが満足にできる状況にない」

「複数クラスの中、生徒同士で競争している環境が保護者としては理想」

「今後、高校、大学、社会に出たときに人間関係を築いていけるかが不安」

※ その他のご意見概要については「裏面」をご覧ください。

子どもたちのために課題の解決が求められています

生徒数の減少に伴い、人間関係や部活動などにおいて、課題が生じていることがわかりました。課題を一刻も早く解消し、子どもたちにとってより良い教育環境を整えていくことが必要です。

中学校で抱える課題は、学校関係者だけではなく、地域全体で解決に向けて取り組む必要があるため、保護者や町内会など、地域にお住まいの方が主体となって話し合いを行う場を設けることにしました。

PTAや自治連合会からメンバーを選出していただき、12月に1回目の話し合いを行う予定です。

ご意見概要

- 少人数学校の良さもあり、子どもには小規模校が合っているように感じることもある。今後、高校などに進学した際、生徒数やクラス数が多くなる中で、その環境に慣れることができるのか心配である。
- 札幌という大きな街に住んでいるなら、固定化された人間関係ではなくて、今以上にたくさんの人との関わり合いを、学校を通して自然と持てるようになると良い。
- 高校などに進学してクラス数が多くなった時に、ちゃんとスタートが切れるのか不安である。小学校、中学校のうちから学級数が多い方が良い。
- たくさんの先生、生徒がいることで刺激を受けるきっかけが増える。
- 生徒数が少なく、人間関係が固定化して良いことは無く、改善する必要がある。
- 学力、スポーツなどで切磋琢磨する機会が少ないと感じる。
- 部活動を選べない。教員が少ないことで新しく部活動を設立することもできない。
- 子どもの人数が少ないために、PTA役員の担い手が不足し、固定化している。
- 保護者は小規模校にとっても不安を感じている。
- もみじ台南中学校は、生徒数が少なくなってきたので統合するのか。
- 統合するとなると、学校関係者だけではなく、色々な立場の人が集まって協議していく必要がある。
- もみじ台地区の児童・生徒数が減少することがわかっていたのであれば、もう少し早く対応が必要だったのでは。

ご意見がございましたら、FAX、メールで下記までお寄せください。
1回目の話し合いの中で、皆様からのご意見を参考に検討を進めていきます。

【お問い合わせ先】

札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課学校規模適正化担当（事務局）
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル5階
FAX：011-211-3837 TEL：011-211-3836
E-mail：gakkokibo@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-S01-20-1801
R2-2-1154

SAPPORO